

第3回観光活性化標識ガイドライン検討会 議事録

日時：平成17年4月18日（月）15：00～17：00

場所：国土交通省4階特別会議室

（意見交換）

梅川委員：文章に難しい言葉を使いすぎている。報告書や通達の際は良いが、観光の現場の人に対しても分かりやすい表現を使ってほしい。

資料2-1と資料2-2の関係が分からない。2つをつなげるのであれば流れを分かるようにした方が良い。

資料2-3の課題2は、媒体別に整理するより、空港、観光地等の場面ごとに整理した方が良い。その方がニーズに対して明確化できるのではないか。

事務局 資料2-1の「定める内容」を「盛り込むべき内容」と修正し、資料2-2の表現と揃える。

資料2-3は、「場面ごと」の表現を取り込んで記述する。

観光協会等に配布する時には、良い事例も入れ込みながら、分かりやすい表現を心掛ける。

田所委員：資料2-2 32頁にまとめられている英語（ローマ字）表記の基準例と資料2-3の課題3との関連性が不明瞭である。

事務局：資料2-2の32頁でローマ字の表記方法を示し、長音記号やパスポートの表記等、各整備主体によってローマ字表記の異なる表現方法を残された課題として課題3の中で述べている。

家田委員：32頁の中では、問題点としてローマ字の表記が統一されていないということが書かれていない。注意書きで今までの歴史的な流れや現状で様々な表記方法があることを書いておいた方が良いのではないか。統一されていない項目は今後の検討課題となる。

具体的には、道路と交通のガイドラインで共通して書かれているが強調したい内容と、新たに加えて記述する内容（略語化と地域内の施設名の統一の2点）がある。さらに注書きで、国交省内においても統一されていない内容があることが実状であり、歴史的経緯があるためすぐに統一することが難しいが、今後検討し、統一化を図る必要があることを記述する。

このようにまとめれば、整理できるのではないか。

廻委員：3頁の箱書き内の文章が分かりにくい。文脈がおかしいのではないか。

家田委員：修正案として、1つ目の丸では、「あるが、」を「一ある。観光客の視点に立つと、適切な案内の機能が必要である。」とする。文章を短く分かりやすい表現とすればよい。

赤瀬委員：3頁「広告」を「PR」とした方が良いのではないか。

小佐野委員：28頁「情報の更新」の2つ目の丸には、データベース化と共にサイン台帳の整備を義務付けてはどうか。

事務局：報告書としては、サイン台帳などのデータベースが重要であるということは書けるが、通達では整備者に対して過度な負担をかけることになるため国として強制はできない。

家田委員：「必要に応じて」ではなく、「サイン台帳等のデータベース化することが望ましい」というようにもっと強い表現としてほしい。

中井委員：14 頁「ユニバーサルデザイン」の「形式的に配慮した設置」の意味が分からないのでもう少し具体的に書いてはどうか。

「ユニバーサルデザインの基準をただ無目的に適用するだけでは弱者にやさしいサインはできない」ということが言えればよい。

11 頁「連続性」に記述している「連続した案内となるように」は「一貫した案内」の方が主旨に合うのではないか。ガイドラインを設置主体側が読むことを考えると、異なる主体間でも一貫した考え方により情報のネットワークを整備するという意味の方が大事ではないか。

家田委員：第 2 章の中のそれぞれの表題を単語ではなく、意味が伝わる文章とした方がよい。例えば、「地域特性の配慮のしかた」、「連続的な案内を可能とする一貫したシステム」、「ユニバーサルデザインへの配慮」などはどうか。

大口委員：交通弱者の視点に立って整備するということが書かれていれば良い。

家田委員：「形式的」より「画一的」、「基準を配慮なしに整備すること」のような言葉にすることが良いのでは。言葉は事務局でご検討頂きたい。

大口委員：15 頁「インフォメーションマーク」の指し示すものが分からない。

赤瀬委員：「情報コーナー図記号の掲出が有効である。」とすれば良いのではないか。

家田委員：ピクトグラムの内容説明として「36 頁参照」と加えてはどうか。

廻委員：28 頁「情報が古くなることにより、内容の劣化が発生するため」とあるが「内容の劣化が発生するため」は余計ではないか。

家田委員：25 頁の上の図が分かりにくい。見直した方がよい。

38 頁の下の図はインデックス化の必要性としての図の表現として道をグリッド上ではなく、曲がった道の方がよい。

44 頁のランドマークの写真は適切ではない。人工物と自然川のような線的な要素の 3 つの例を挙げた方がよい。

1 頁の「一人でも移動できる」とまでいえるのか。孤立した印象を受ける。

事務局：1 頁の中の懇談会報告書の説明については文の前後を工夫して誤解のないように記述する。

家田委員：「一人でも移動できる」の部分は「安心して一人歩きできる」とするのがよい。

44 頁については、限定されたエリアでランドマークとなるものがよい。例えば、くすの木や教会のように街中であって目印となるものがよい。

中井委員：北上川と岩手山の事例がよいのではないか。

「安心して一人歩きできる」は治安の問題と誤解されるのではないか。

小佐野委員：16 頁に自然公園法が載っていないのには何か理由があるのか。

事務局：事例として入れる。環境省と国交省と別々にガイドラインを検討しているので見落としていた。

小佐野委員：実施する上で財源が重要であり、加えて景観法とガイドラインの3点が揃うことで現状の課題がクリアーできるのではないかと。特に整備事業者側には財源が重要な課題になる。

事務局：検討会では総合的な施策の中でガイドラインに絞って議論している。パイロットケースについては6月に公募し今年度から始める。その中でガイドラインの改善点等を勉強していく。

観光の財源としては「観光ルネッサンス事業」があり、民間に対して4割を負担することができ、今回のガイドラインに沿った標識の整備は対象になりうる。その他、自治体が整備を行う場合にはまちづくり交付金等の支援策がある。

家田委員：岸井先生の意見の内容はどこに反映されているのか。

事務局：3番目の意見は、13頁の2つ目の丸の文と一段落目に追加した。

2番目の意見は、18頁の4つ目の丸の文、19頁の下から二段目を追加した。

1番目の意見は、9頁の2段落目に追加している。

また、岸井委員の指摘を受け、「はじめに」において対象者を限定した文（3段落目）を追加した。

赤瀬委員：全体としては網羅的になり、分かりやすくなった。

5頁の中の携帯情報端末には、誰でも使えるものではないことを記述するべきである。

14頁のユニバーサルデザインについては、特定のニーズではなく、普遍的なニーズに応じることが大事である。

2つ目の丸では、分かりやすさの内容として必要な情報がちゃんと得られるようにすること、3つ目の丸では、見やすくするという話として整理したほうがよい。

家田委員：責任の所在を明確にするため、名簿に事務局の名前とコンサルタントの名前を書き入れるようにしてほしい。

中井委員：18頁について、整備者が計画から是正措置まで全て行うと考えてよいのか。

家田委員：計画、設置後もニーズにあっているかどうか常にチェックし修正していく。これを行うための組織づくりが重要であることを述べている。

事務局：1番目と2番目の丸が逆ではないか。

家田委員：参考資料2の14頁では「標識マネジメント会議」をいう組織をつくと記述している。体制という言葉は具体的な組織の名前ではないので、抽象的すぎるのではないかと。

中井委員：適切な情報提供を行うことと、総合的なマネジメント体制をつくるのが論理的には直接結びつかないため、地域が自分達で組織し、考え、実行することが大事であるという説明が必要である。

古賀委員：45頁の案内資源の分布の中には、指示、図解標識という言葉しかないが、全体として指示、同定、図解標識の3つに分けて整理したほうが分かりやすいのではないかと。

37頁では図解標識のみしか書かれていないので指示標識についても書く必要があるのではないかと。基本方針の中でも良いが、内容を整理する必要があるのではないかと。

ないか。

事務局 : 37 頁では図解標識特有の内容を記述している。それ以外は指示、同定、図解標識共通の事項である。

家田委員:内容についてはこれで良いと思うので、修正する部分としては、「図解」、「指示」、「同定」の用語の表現を揃えることで良いのではないか。

古賀委員:それぞれ標識で文字の大きさは変わるのではないか。

家田委員:他のガイドラインで書かれているため、観光に限定して書く必要はないと思う。用語が逆に成っている等の言葉の表現は揃えることで良いのではないか。

赤瀬委員: 14 頁の二つ目の丸について、「その情報提供手法を必要とする人が」を「その情報を必要とする誰もが」とした方が良い。

3つ目の丸では、最小限の情報とすることのみを記述しているだけで、見やすさと分かりやすさが表現されていない。

家田委員:3つ目の丸は「必要十分な情報に限り、繁雑な表示を避けること。色や大きさ等に気を付けて見やすくすること。」という内容にすれば良いのではないか。

梅川委員:図表のタイトルと番号を付けた方が良い。

家田委員:そろそろ予定の時間である。事務局は本日の意見をもとに報告書を修正して頂きたい。

事務局 : 具体的な修正については、座長一任ということをお願いしたい。

一同 : 意義なし。

以上